NEWS LETTER

Vol.27 2015年12月

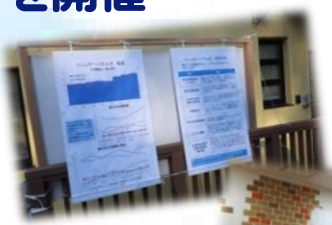
男女共同参画推進室活動報告

★子育て支援イベント「おはなしのかい」を開催

10月27日（火）、「静岡おはなしかご」の皆様を講師にお招きし、子育て支援イベント「おはなしのかい」を開催しました。学外から3組7名の親子にご参加いただき、“手遊び”や“わらべ歌”を教わりながら、親子で触れ合い、楽しい時間を過ごしました。

★「自立体力測定とジェンダー・パネル展」を開催

11月14日（土）、15日（日）の2日間、「静大キャンパスフェスタ in 静岡」が開催され、男女共同参画推進室では多目的保育施設「たけのこ」において「自立体力測定とジェンダー・パネル展」を開催しました。



「自立体力測定」では、歩行や姿勢変換能力など、生活に必要な体力の測定を項目ごとに行い、「ジェンダー・パネル展」では、本学の学生や教職員について、女性比率の推移などを紹介しました。

1日目はあいにくの雨でしたが、2日間合わせて86名の方にご参加いただきました。参加いただいた皆様、ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

男女共同参画推進室からのお知らせ

◆春休み学童保育

今年度も浜松キャンパス春休み学童保育を開設します。
申込方法など詳細は後日、男女共同参画推進室のホームページにてお知らせします。

【期間】平成28年3月22日（火）から4月6日（水）まで
（ただし、土曜・日曜・祝日を除く）
【場所】静岡大学浜松キャンパス

◆くるみんマーク認定

静岡大学は、次世代育成支援対策推進法に基づき、教職員が子育てと仕事を両立するための一般事業主行動計画を策定、実施しています。
この度、厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として三度目となる「くるみんマーク」の認定を受けることができました。

静岡大学
男女共同参画推進室

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836
TEL：054-238-3052　FAX：054-238-3160
http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/
takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）からのお知らせ

◆管理職育成メンター制度の運用を開始

静岡大学の女性教員の教育研究能力を高めるとともに、管理職の育成を目的とし、管理職となることへの不安を軽減し、組織をマネジメントする能力を向上を図るため、本学において管理職を経験した教員をメンターとして気軽に相談できる体制を提供する「管理職育成メンター制度」の運用を開始しました。詳しくは、女性研究者研究活動支援事業(拠点型)ホームページ【http://www.sankaku.shizuoka.ac.jp/】をご覧ください。

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）活動報告

◆キャリア形成支援「英語プレゼンテーション研修」(10月1日)

国立遺伝学研究所の広海健先生（同研究所リサーチ･アドミニストレーター室長）を講師にお招きし、効果的なプレゼンテーションの方法をご指導いただきました。参加者の皆様から「頭が整理できた」、「日本語のプレゼンにも役立ちそう」といったお声をいただきました。

◆健康教室・介護予防教室 (10月19日)

浜松キャンパスにおいて、健康教室「大人のためのラジオ体操」、介護予防教室「お年寄りでもできる筋力トレーニング!!」を開催し、教育学部の中野美恵子先生にご指導いただきました。

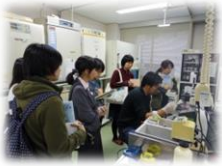
◆第10回定例交流会(11月12日)

静岡キャンパスにおいて第10回定例交流会を開催し、連携機関の皆様へ進捗状況や新しい取組について説明し、目標達成に向けた対応を依頼しました。

◆男女共同参画シンポジウム(11月12日)

静岡キャンパスにおいて、男女共同参画シンポジウム「地域連携による女性研究者支援」を開催しました。日本IBM株式会社の橋本孝之氏（同社副会長）による基調講演のほか、連携機関の皆様や本学の女性研究者から本事業による成果等についてご報告いただき、当室の澤渡室長より今後の展望と取組について説明しました。詳しくは、別紙の開催報告をご覧ください。

◆国立遺伝学研究所　研究室見学会(11月13日)



国立遺伝学研究所にご協力いただき、本学の女子学生が研究室を見学しました。大学院進学予定の5名の女子学生が参加し、3つの研究室を見学させていただき、実際の研究現場を見ることができて学生たちにとって大変参考になったようです。

◆飛ぶ教室(12月9日)

常葉大学を訪問し、本学の男女共同参画や女性研究者支援の取組を紹介するとともに、今後、連携した取組を進めることができないかなど意見交換を行いました。

◆女性研究者と学長と懇談会、管理職メンター紹介(12月10日)

本学の女性研究者と学長との懇談会を開催しました。昼食をとりながらの意見交換に加え、管理職メンターをお引き受けいただいた元副学長（男女共同参画担当）である大村知子先生をお招きし、管理職としての経験談をお話いただきました。

◆管理職インターンシップ(12月10日)

管理職の職務や大学運営について知っていただくためのインターンシップとして、女性教員から希望者を募り、役員懇談会等に陪席し、大学の意思形成過程を体験しました。

◆スタート・ワーク・アゲイン・ミーティング(12月18日)

多目的施設「たけのこ」において、育児休暇中の職員を対象としたスタート・　ワーク・アゲイン・ミーティングを開催しました。復職し子育て中の職員からの経験談や復職に向けての疑問や不安について、活発な意見交換を行いました。

静岡大学
男女共同参画推進室

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836
TEL：054-238-3052　FAX：054-238-3160
http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/
takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学　男女共同参画シンポジウム
『地域連携による女性研究者支援 本事業の成果をもとにダイバーシティ推進へ』 開催

平成27年11月12日（木）静岡キャンパス大学会館大ホールにて、男女共同参画シンポジウムを開催しました。

静岡大学は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」に採択され、民間企業を含めた12機関と連携して、女性研究者の支援の取り組みを進めてきました。この日は、午前中に第10回目となる連携機関との交流会を行い、午後からシンポジウムを開催し、学内外から多くの方にご参加いただきました。

基調講演では、日本IBM副会長の橋本孝之様に、企業におけるダイバーシティの取組についてお話いただきました。その後、静岡県の女性研究者の育成を目的としたしずおか優秀若手女性研究者表彰にて連携機関を含む4名の女性研究者を表彰しました。続くプログラム成果報告では、本学および連携機関の3機関より、これまでの取組の内容やその成果を発表しました。さらに、ショートリポートとして研究支援員制度と連携研究（共同研究）支援制度を利用された2名の女性研究者より、その効果について報告いただきました。最後に、今後の展望と取組について本学副学長より、本事業により築かれた連携体制を継続発展させていく旨をお伝えしました。

参加者へのアンケートでは、約9割が大変有意義だった・有意義だったと回答しており、有意義な時間となったようです。

これまでの取組や成果をふりかえる総括シンポジウムということもあり、たくさんの方にご協力いただきました。改めて感謝いたします。ありがとうございました。

本学では、本事業終了後も、ダイバーシティ研究環境の実現にむけ、連携機関と協議を行いながら、ライフイベントと研究活動の両立支援や活躍促進を図るため、さまざまな取組を進めて参ります。

プログラム

【開会挨拶】 伊東 幸宏（静岡大学長）

【基調講演】『IBMの経営とダイバーシティー』
講師：橋本　孝之 氏（日本IBM株式会社 副会長）

【しずおか優秀若手女性研究者表彰　表彰式】
最優秀賞：島村　裕子　氏（静岡県立大学食品栄養科学部　助教）
優　秀　賞：Monira Pervin　氏（静岡県立大学大学院食品栄養環境科学研究院　茶学総合研究センター　研究員）
妹尾　奈波　氏　（静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府　博士前期課程２年）
柏原　美紗子　氏（静岡大学大学院農学研究科修士課程2年）

【「未来を拓く明日への懸け橋　レインボープラン」プログラム成果報告】
・静岡大学　三宅　恵子（男女共同参画推進室　特任助教）
・静岡県立大学　犬塚　協太　氏（国際関係学部　教授）
・国立遺伝学研究所　小林　百合　氏（リサーチ・アドミニストレーター室　特任研究員）
・浜松ホトニクス株式会社　稲田　充代　氏（産学連携部）

【ショートリポート】
研究支援員制度利用者による報告
糸川　紅子　氏（静岡県立大学看護学部　講師）
連携研究支援制度利用者による報告
本橋　令子　氏（静岡大学農学研究科　教授）

【今後の展望と取組み】 澤渡　千枝（静岡大学副学長・男女共同参画担当）

【閉会挨拶】 前田　千尋（静岡大学理事（総務・財務・施設担当）・事務局長）

静岡大学　男女共同参画推進室
TEL　054-238-3068　FAX　054-238-3069　takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

男女共同参画シンポジウム
『地域連携による女性研究者支援 本事業の成果をもとにダイバーシティ推進へ』 開催

日本IBM株式会社の橋本氏による基調講演

しずおか優秀若手女性研究者表彰 表彰式

プログラム成果報告／連携機関の発表
静岡県立大学　犬塚協太氏

プログラム成果報告／連携機関の発表
国立遺伝学研究所　小林百合氏

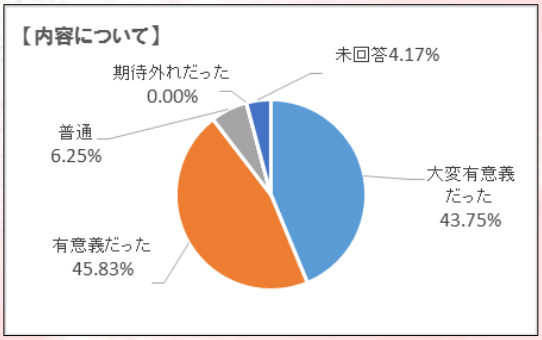
プログラム成果報告／連携機関の発表
浜松ホトニクス㈱　稲田充代氏

ショートリポート 研究支援員制度利用者による報告　静岡県立大学　糸川紅子氏

ショートリポート連携研究支援制度利用者による報告　静岡大学　本橋令子氏

今後の展望と取組み　静岡大学　澤渡千枝氏

第10回定例交流会の開催



約9割が大変有意義・有意義だったと回答

＜参加者アンケートより＞

- 橋本氏の講演から教えられた点が多かった。他大学を含め、取組の全体像がよく分かった。
- 男女共同参画よりもさらに大きなダイバーシティの動きについて知る事ができた。また研究支援員の意義や成果が具体的にわかった。
- 基調講演が大変興味深く聴講させていただいた。
- ショートリポートにより事業内容がよくわかりました。
- ワークライフインテグレーションという言葉が印象に残りました。多様な価値観がある環境をつくるためには自分のやるべきことをしっかり果たすことが大切だと思いました。
- ダイバーシティについて解りやすく説明していただけた。
- ダイバーシティ経営の重要性がよく理解できた。

静岡大学　男女共同参画推進室
TEL 054-238-3068 FAX 054-238-3069 takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

男女共同参画シンポジウム
『地域連携による女性研究者支援 本事業の成果をもとにダイバーシティ推進へ』 開催

日本IBM株式会社の橋本氏による基調講演

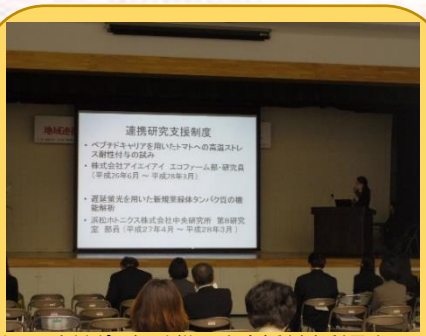
しずおか優秀若手女性研究者表彰 表彰式

プログラム成果報告／連携機関の発表
静岡県立大学　犬塚協太氏

プログラム成果報告／連携機関の発表
国立遺伝学研究所　小林百合氏

プログラム成果報告／連携機関の発表
浜松ホトニクス㈱　稲田充代氏

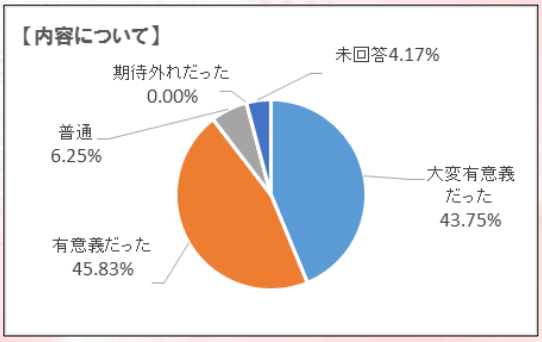
ショートリポート 研究支援員制度利用者による報告　静岡県立大学　糸川紅子氏



ショートリポート 連携研究支援制度利用者による報告　静岡大学　本橋令子氏

今後の展望と取組み　静岡大学　澤渡千枝氏

第10回定例交流会の開催



約9割が大変有意義・有意義だったと回答

＜参加者アンケートより＞

- 橋本氏の講演から教えられた点が多かった。他大学を含め、取組の全体像がよく分かった。
- 男女共同参画よりもさらに大きなダイバーシティの動きについて知る事ができた。また研究支援員の意義や成果が具体的にわかった。
- 基調講演が大変興味深く聴講させていただいた。
- ショートリポートにより事業内容がよくわかりました。
- ワークライフインティグレーションという言葉が印象に残りました。多様な価値観がある環境をつくるためには自分のやるべきことをしっかり果たすことが大切だと思いました。
- ダイバーシティについて解りやすく説明していただけた。
- ダイバーシティ経営の重要性がよく理解できた。

静岡大学　男女共同参画推進室
TEL 054-238-3068 FAX 054-238-3069　takenoko@adb.shizuoka.ac.jp